

(三方よしで)みんな笑顔



No.11 2022 年 5 月

気持ちよくワイズの活動を

桜色していた街が、鮮やかな青葉とツツジの色あふれる爽やかな季節となりました。



日本で、世界で、悲しい出来事が報道され、目を覆いたくなることも多いのですが、良いこと、嬉しいこともたくさん

あります。そういうことに心を癒されながら、勇気をいただきながら、少しでも周りの方の力になれるようワイズの活動を進めていきたいです。そうできることに感謝して。

コロナ対策は怠らず、活動を広げていけますことを願っています。

.....

=西日本区役員会議案の中で特に皆さんにお伝えしたいこと=

○「次期における JWF 管理委員会委員選出推薦の件」<可決>

地域性を考慮し、7つの部から一名ずつ選出

女性メンも選出

○「沖縄県を東西日本区の地理的範囲とする件」<可決>

沖縄県は、2021年6月末まで東日本区の地理的範囲で、沖縄クラブと沖縄那覇クラブが存在していたが、両クラブとも解散。現在、東日本区および西日本区で沖縄県に新クラブ設立の動きあり。

○「今年度末のYサ資金（余剰分）の処理方法について」<可決>

今年度末時点においてYサ資金に余剰金が発生した場合は、一般会計にこれまでのようにくり入れず、次年度会計より創設されるYサ資金特別会計に繰り入れる。

○「西日本区ワイズメネット委員会規則の制定及び施行日承認の件」<可決>

メネット事業が廃止され、西日本区第2回役員会において、西日本区ワイズメネット委員会が承認されましたので、設置に伴い細則が定められました。

- ・ 各部において、メネット連絡員などを置くことが望ましい。
- ・ 各部での活動は工夫できる。

~ワイズメネット委員会の職務~

- 1) 西日本区におけるメネット相互の親睦推進
- 2) 上記を行うために西日本区メネットアワーを開催し、各部で開催されるメネットの集いを支援

3)国際プロジェクトへの協力並びに西日本区における啓発

4)その他理事の指示する事項

六甲部においては、メネット委員会を設置し、上記の活動を行うこととなります。

○「JWF 管理委員会規則改正、3分の2以上の賛成で議決」＜否決＞

賛成と反対同数。議長が決定できなかったため、第4回役員会にて再提案される。

=協議案の中から=

①「メネット会計の資金を特別会計で管理する件」

⇒西日本区第4回役員会で議案として提案

②「西日本区報発行回数および記載内容確認」＜継続協議＞

「西日本区報」は、西日本区の諸活動・情報を中心に掲載し、全会員に配布されている唯一の機関誌であり、公式記録として後世に残るもの。発行回数は、定款細則に、「当該年度で3回以上発行」とある。

③「西日本区理事・役員を選出の困難性を改善するための方策を協議する」

西日本区理事の立候補者が少なく、毎年選出に苦労している。

これを改善するための方策を提案する。

- ・理事等の負担（経済的・業務量的）の軽減

例) 遠方の部会等には Zoom 参加または代理参加、区事務所の役割強化

- ・理事や部長が1期2年を選択可能に

⇒長期の課題に挑戦、1年目の区大会や部会を簡略化して開催

④ 「西日本区の統一奉仕活動のテーマを定めることについて協議する」

ワイズは、YMCA の支援だけでなくワイズの顔となる奉仕統一活動を区の統一事業として取り組みたい。

例) 海洋汚染問題のプラスチックごみの回収、子どもの貧困、ひとり家庭支援

児童保育の支援、ユースへの経済支援、WEEK 4 WASTE プロジェクト

⑤ 「部の再編と部活動支援金についての改善提言」

西日本区の中で、部の再編を検討すべき時、検討が必要な部だけに任せるのではなく、関連する部および区の役員も入った検討チームで問題解決にあたる。

部支援金については、その妥当性、今後のあり方等について役員会で協議する。

⑥ 「西日本区サポート〈応援・支援〉ファンド (JWSF) の創設について」

西日本区の財政は、現在、西日本区費などで賄っているが、当初予算化されていないが都度必要と見込まれる区の効果的活動について、一般会計からの拠出が、困難な場合があるため、その支援・応援に資するためのファンドを設立したい。

⇒メンバーの趣意申出によって寄贈されるもので、その額は基本的に 1000 ドルとし、寄贈してくださった方々は台帳に記名し、永久保存とする。

寄贈の額に応じて特典を設ける。

以上、協議案の③・④・⑥については、各クラブでご検討いただき、ご意見をお寄せください。次回、西日本区第4回役員会にて部の意見として提出いたします。

・・・お知らせおよびお願い・・・

きらりと輝くアート展



今年は、初めて Web でのアート展に挑戦です。

デジタル小委員会の大岩ワイズのお力をお借りし

て、集められた作品を六甲部 HP 上に掲載予定です。各クラブで、支援先にお声がけして、3年ぶりにきらりと輝く作品の数々が揃うことを楽しみにしています。

ワイズのことを知っていただく

パートナーシップ委員会での話し合いを受けて、YMCA の情報誌「神戸青年」と

「2021年度神戸YMCAレポート」に、ワイズメンズクラブの活動の様子を掲載していただくことになりました。YMCAに繋がる多くの方に、ワイズメンズクラブに関心を持っていただく一助となればと思います。

2021-22/2022-23 ワイズメンズクラブ六甲部キャビネット引き継ぎ会

4月25日（月）、神戸YMCAにて、今期と次期の部キャビネットが引き継ぎ会を行いました。今期の部長、書記、会計が、それぞれに実施したことを引き継ぎ、評議会で課題として次期に引き継ぐことも確認しました。

部則の改定など今期評議会で提案された意見について次期キャビネットによって検討されます。また、会計に関しては、振り込みに必要な手数料の予算化、取引金融機関について、部長・役員活動費としての必要経費、主査活動費・研修費が使われていないこと（活動の推奨）

以上が話し合われました。

六甲部から神戸 YMCA への寄付金に対するお礼状



2022年 4月 5日

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部 様

公益財団法人神戸YMCA
理事長 中道 基夫
総主事 井上 真二

寄附ご協力感謝

拝啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は、YMCAの諸活動にご理解とお支えをいただき心から感謝申し上げます。
このたびはYMCAへの寄附として200,000円をいただきありがとうございました。

神戸YMCAは、すべてのいのちをかけがえのないものとして守り育て、共に生きる社会の実現に向けて、多くの会員、ボランティアの皆様とともに、取り組みをすすめてまいります。今後とも、いっそうのご協力とお支えを賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

敬具

六甲部 皆様
この度のご支援を本当に
ありがとうございました。
総主事 井上 真二

いつも覚えお支えいただき
誠にありがとうございます。
大変心強く感じまえます。
本部長 松田 道子

公益財団法人 神戸YMCA

〒650-0001 兵庫県神戸市中央区加納町2丁目7番11号 2-7-11,Kano-cho,Chu-ku,Kobe,Hyogo 650-0001 JAPAN
TEL.078(241)7201 FAX.078(241)7479

六甲部から、ウクライナ支援として100,000円を拠出いたしましたが、国際では部としての登録がないとのことで、各クラブ12,500円とし、各クラブからの支援金とあわせて登録されましたこと、お知らせいたします。
ただいま、六甲部全体としては、270,000円の支援がなされています。